

「第33回京都府文化賞」の受賞者の決定及び授賞式の開催について

平成27年1月6日
京都府文化環境部
文化芸術振興課
(電話075-414-4216)

京都府では、昭和57年度以来、毎年、京都の文化の振興・発展に功績のあった方等を顕彰しておりますが、第33回（平成26年度）京都府文化賞受賞者を別添のとおり決定し、下記のとおり授賞式を執り行いますのでお知らせします。

記

<授賞式>

- 1 日 時：平成27年2月6日（金）午前11時から11時45分まで
- 2 会 場：京都府公館「レセプションホール」
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町 590-1
- 3 出席者：受賞者及び同伴者、来賓（過去の受賞者等）（約120名）



第33回京都府文化賞受賞者紹介

受賞者の特徴等	<p>○日本藝術院会員、国際日本文化センター名誉教授の杉本秀太郎氏、伊藤若沖をはじめ多くの江戸時代の絵画や伝統工芸品を収集、日本の文化を世界に広く発信されたジョー D. プライス氏らが特別功労賞を受賞。</p> <p>○功労賞は、絵画、工芸、写真、文学、舞台芸術など幅広い分野の方々を受賞。50年以上にわたり斬られ役を演じ、映画・テレビ時代劇を長年支え続けてきた俳優の福本清三氏が受賞。</p> <p>○奨励賞は、漫画家の小山宙哉氏のほか、美術家の金氏徹平氏、画家の山本太郎氏など、幅広い分野から、現在活躍する新進の芸術家が受賞。</p>
---------	---

	氏名	年齢	受賞者紹介	
特別功労賞	喜志 哲雄	79	英米演劇学者	シェイクスピアやハロルド・ピンターを中心に英米演劇の研究を深め、多くの著書や翻訳を刊行。京都大学教授、兵庫県立ピッコロ劇団の客員を務めるなど、舞台芸術の振興に多大な貢献。ハロルド・ピンター(1930~2008)・・・イギリスの劇作家。映画の脚本等も手掛ける。05年ノーベル文学賞。
	ジョー D. プライス	85	美術収集家	伊藤若沖をはじめ1,000点以上の絵画や伝統工芸品を収集。精力的に展覧会を開催するなど、日本の歴史・文化を国内外に発信、日本の芸術文化の再興と発展に大きく寄与。江戸時代の絵画を中心とする収集品は「プライスコレクション」と称され、全国各地で展覧会を開催。
	杉本 秀太郎	84	フランス文学者	フランス文学のほか、日本文学、絵画、音楽の研究を手掛け、フランス文学者、エッセイストとして幅広く活躍。多年にわたり祇園祭の祭事及び伯牙山の修復事業、生家・杉本家住宅の保存にも尽力。料理研究家の杉本節子氏は次女。
	宮崎 昭	77	畜産学者	専門は畜産資源学。肉用牛に関する研究などとともに、国内外で多数のフィールドワークを通じた幅広い知見とネットワークにより、畜産業の振興と後進育成に大きく貢献。「実学」を尊重し、専門分野以外でも教育活動に尽力。
	森野 泰明	80	陶芸家	長年釉薬の研究を重ね、代表的な「蒼溟」と呼ばれる瑠璃色の色釉を生み出す。独自の色彩感覚と存在感のあるフォルムの響き合いが魅力の作品を多数発表。国内外で高く評価。
功労賞	浅野 均	59	画家	中国美術に日本画のルーツを見出し、創作活動とともに中国美術の研究を深める。その土地の素材を用いた氏だけが創り出せる色、表現を追求。京都の素晴らしい風景を世界へ発信。
	叶 道夫	66	陶芸家	京焼の窯元「三代叶松谷」と陶芸作家「叶道夫」の顔を併せ持つ。現代的な感覚や技術を取り入れ、継承した伝統を発展させようと取り組む。コラボレーションなど新たな可能性にも挑戦。
	茂山 千三郎	50	能楽大蔵流狂言方	欧米をはじめ東南アジアなど、多くの海外公演を行うとともに、新作狂言の脚本を手掛けるなど、活躍の場を拡大。子どもたちへの伝承にも力を注ぎ、狂言の普及に尽力。
	新道 弘之	73	藍染作家	日本固有の「藍の文化」や「手仕事の文化」を新しいかたちで守ることを使命に、美山で創作活動を続ける。独自の絞り技法を開発、制作に力を注ぐ。作品は、海外からも高く評価。
	秦 恒平	79	小説家	先達の著書や古典から学び、作品にしてきた博識の作家。数多い自作・著述もホームページや『秦 恒平・湖の本』(現在までに122巻)として跡絶えなく刊行を続ける。
	福本 清三	72	俳優(東映剣会)	多くの時代劇映画に出演、50年以上斬られ役を演じる。カナダで開催された第18回ファンタジア国際映画祭で日本人初となる主演男優賞を受賞。「東映剣会」会長として後進指導にも尽力。2014年6月14日公開の映画『太秦ライムライト』で「斬られ役一筋のベテラン俳優」役として初主演。
	水野 克比古	73	写真家	40年以上にわたり京都の風景を撮り続け、その素晴らしい風景美や伝統を多くの人々に写真を通して伝える。町家を復元再生し「町家写真館」を開設、古都の情緒あふれる作品を紹介。
	やなぎ みわ	48	演出家・美術作家	CGや特殊メイクを駆使した写真作品を制作し、多数の個展を開催。近年は演劇公演を手掛けるなど、演出家としての創作活動に力を注ぎ、その意欲的な活動は国内外から高い注目を集める。
奨励賞	小沢 さかえ	34	画家	森や山、動物をモチーフにした物語性のある作品を中心に制作し、精力的に個展やグループ展を開催。絵本原画やウィンドウディスプレイのデザインなど新たな領域へと活動の幅を広げる。
	金氏 徹平	36	美術家	プラスチック製品や雑誌の切り抜きなど、日常にある既製品を組み合せ、コラージュの手法で作品を制作。近年は舞台作品の美術や「琳派」とのつながりを探る大胆な試みを新たに展開。
	小山 宙哉	36	漫画家	代表作となった『宇宙兄弟』は、雑誌の連載から始まり、テレビアニメ、実写映画、アニメ映画となり人気を博す。丁寧な描写と魅力ある登場人物に、幅広い世代から支持を得る。
	笹井 史恵	41	漆芸家	主に朱漆を用い、植物や動物、子どもなど命が宿るものをモチーフにした有機的な造形が特徴。一般向けの体験講座を毎年実施するなど、漆の魅力を作品や体験を通して幅広い世代へ伝える。
	山本 太郎	40	画家	伝統技法を現代の視点で再構成した「ニッポン画」を提唱。現代風俗を独自のユーモアのセンスで描いた世界が注目を集める。秋田公立美術大学で後進の育成にも尽力。ニッポン画・・・日本の昔の絵画を現代の視点で再構成したもの。

(年齢は受賞日現在)